



第8回食育活動表彰
消費・安全局長賞

教育関係者・事業者部門【農林漁業者等の部】

消費・安全局長賞

すずき よしあき
鈴木 芳昭

[千葉県：活動期間30年]

近隣幼稚園、小学校を対象とした農業体験。
中学校への出前授業、農業体験等。

「地域子ども達には市内で栽培した農産物を食べてもらいたい」がきっかけ

「地域子どもたちには市内で栽培した農産物を食べてもらいたい」という気持ちで開始した学校給食への農産物供給をきっかけに、地域の小学生たちが農業体験に来るようになり、活動が広がっていきました。学校給食を通して子どもたちに地場産食材の味を知ってもらうと同時に、農業体験を通して作物を育てる喜びや苦労を伝えています。今後は、既存の活動の継続に加え、コロナ以前のように、農協観光や君津亀山青少年自然の家などとの連携を図り、収穫体験や農業体験などの拡充を目指しています。



枝豆収穫の様子



在来大豆「小糸在来®」を用いて、座学、実習、みそづくり及び発表会等の食育

活動は近隣にとどまらず、県外の教育機関とも連携して行っています。川崎市立川崎高等学校附属中学校との連携では、君津市に古くから伝わる在来大豆「小糸在来®」を用いて体系的な食農活動に取り組んでいます。座学、栽培収穫などの実習、収穫した大豆を用いたみそづくりおよび学習発表会など、年間を通して播種から加工までの全てを学ぶことができます。



小糸在来®についての授業



みそづくりの様子

君津市農業農村活性化協議会を設立し、組織的で継続的な食育活動に発展

学校給食への農産物供給、地域の農業体験受け入れを30年以上継続してきた中で、関係機関と共に君津市農業農村活性化協議会の設立に至りました。協議会の設立により、個人の活動だけでなく、関連機関とも連携した組織として継続的な活動にも取り組めるようになり、より幅広い地域、世代への食育推進に繋がりました。



大豆の播種の様子



この度は、栄えある賞をいただき感謝いたします。私は、地域子どもたちに地元の農産物を食べてもらいたい、農業の魅力を知ってもらいたいという思いから、学校給食へ野菜の供給や農業体験を行っています。今後も子どもたちへの農業体験、また、君津市の魅力を県内外の方に農業を通じて知っていただけるような活動を続けていきたいと思っています。ありがとうございました。

君津市農業農村活性化協議会
会長 鈴木 芳昭